



要件モデリングツール **ZIPC Feature**

多品種向けソフトウェア開発の効率と品質を向上！

多品種向けソフトウェア開発の開発効率、品質の向上策をお探ですか？
ZIPC Feature がお役に立っています。ソフトウェア・プロダクトラインとZIPC Featureで開発コストと品質を同時に改善しましょう！

TERAS
連携製品

● どのようにしたら開発効率が向上できるのか？

ソフトウェア・プロダクトラインを適用することで開発効率を向上することができます。ソフトウェア・プロダクトラインは多品種開発向けのソフトウェア開発手法です。ソフトウェアを部品化し、その再利用により個々の製品を構成することにより、コストと期間を節約します。

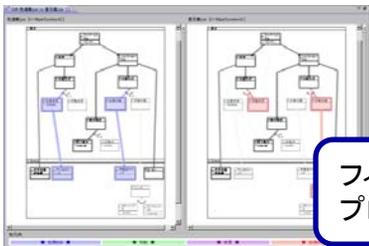


● どのようにしたら品質が改善できるのか？

ソフトウェア開発において高い品質を得るには、複数の工程から開発されるそれぞれ異なる成果物を、互いに対応づけて管理する必要があります。ソフトウェア・プロダクトラインでは、それらに加えてさらに、製品毎に変化する要件と共通の要件を区別して管理します。この管理により、成果物間の対応付けカバレッジの確認や、変更時の影響分析が可能になり、高い品質の製品を開発することができます。

● ZIPC Feature

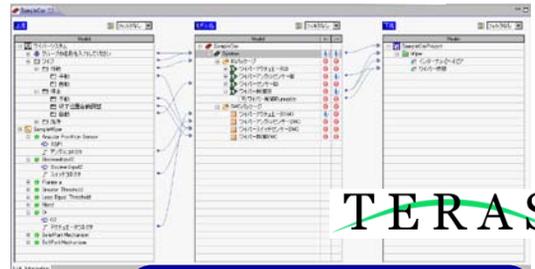
ソフトウェア・プロダクトラインの成功の鍵は、開発計画にあります。ZIPC Feature は開発計画にとって最も重要な分析である、変動性分析のためのモデリング・ツールです。
簡単な操作でフィーチャ・モデルを作成できるZIPC Feature はソフトウェア・プロダクトライン開発を強力に支援します。



フィーチャモデル
プロダクトモデル

● TERAS

成果物間の対応付けの確認は項目が非常に多く、手作業では非常に困難な作業になります。TERAS が提供する成果物間のトレーサビリティ管理機能により、繰り返し行われるレビューや影響範囲の確認作業を大きく軽減します。また、Microsoft Office をはじめとする各種ツールと連携することで、設計情報の登録も簡単に行えます。
ZIPC Feature は TERAS と連携し、フィーチャ・モデルのトレーサビリティを提供します。



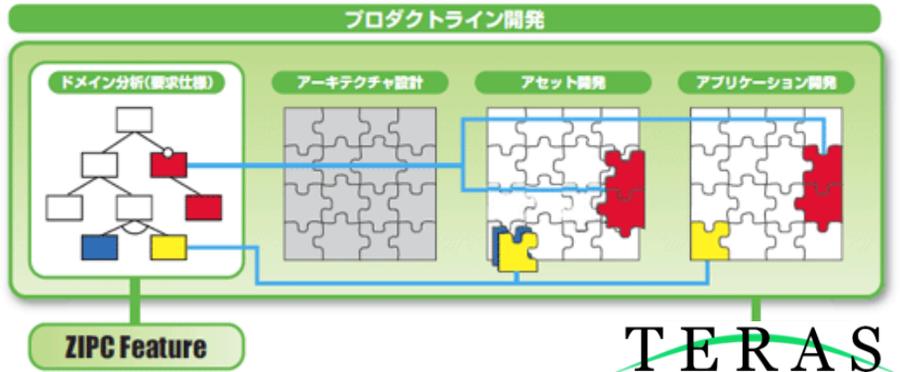
要件・設計間カバレッジ確認
影響分析
設計ツールとの相互参照

● ZIPC Feature と TERASによる プロダクトライン開発の流れ

ZIPC Feature によるフィーチャ・モデルとプロダクト・モデルはTERASに入力され、製品群の要求の変動性を表現します。

フィーチャに基づいて開発された設計書や試験仕様書は、TERAS上でフィーチャと対応づけられます。

開発成果物はTERAS上で、カバレッジの確認や影響分析ができる他、TERAS上で選択した要素を、その設計ツール上で表示させたり、逆に設計ツール上で選択した要素をTERAS上で選択表示させることができます。



● 上流工程の設計を確実に引き継げる！

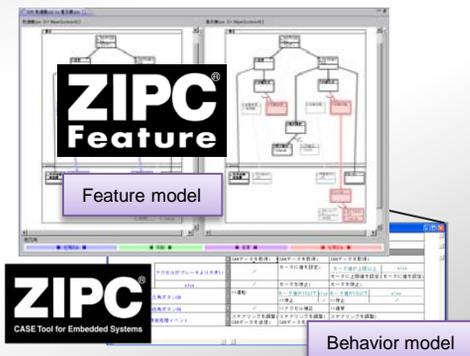
成果物間の対応付けカバレッジを完全にすることは、上流工程の設計を確実に下流工程に引き継ぐことになります。それによってえられる品質の向上は**機能安全**の実現に大きく貢献します。

● 様々なモデルを一括管理できる！

TERASはあらゆるファイルを管理できます。また、連携ツールを使用すれば、フィーチャ・モデル、物理モデル、構造モデル、振る舞いモデルを要素単位で管理することができます。

ZIPC Feature の機能

フィーチャ・モデルとプロダクト・モデルの作成・編集、無矛盾性の検査、.hのエクスポート、ZIPCへのエクスポート、TERASへの登録機能、カバレッジ確認(TERAS連携機能)、影響検索(TERAS連携機能) など



・本資料の内容は、予告なしに変更する場合があります。
・本資料に掲載された社名、製品名は各社の商標または登録商標です。